

密閉式容器

密閉した状態で働く微生物の活動を利用する方法です。密閉式なので虫が発生しづらく、屋内でも使用できます。併せて発酵液が生成されるので、水で薄め活用できます。生ごみの量はあまり減りません。

用意するもの

- ・密閉式容器
- ・発酵促進剤
※助成金の対象になります。
- ・新聞紙 1枚
- ・ゴム手袋



密閉式容器

使用方法

1 容器の準備

容器の底（目皿があれば目皿の上）に新聞紙を1枚敷き、新聞紙の上に発酵促進剤をまく。
（さらっと底が見えなくなる程度）

2 生ごみを入れる

水切りした生ごみを入れ、発酵促進剤を振りかけて、ゴム手袋などを使用してよく混ぜる。



3 空気を押し出す

生ごみを上から押さえつけ、生ごみの間にある空気を押し出しフタをしっかりと閉める。

4 日々の管理

ごみが出るたびに2、3を繰り返す。直射日光の当たる場所や温度変化の大きい場所には置かない。漬物のような酸味のある臭いがしたら成功。こまめにコックを開けて発酵液を出す。夏場などで臭いが強く感じるようになった時は、発酵促進剤を多めに使用したり、早めに畑に埋める。処理容器が一杯になったら、そのまま1～2週間寝かせる。

5 発酵液の利用

液体肥料として利用する場合は100～1,000倍に、配水管のヌメリを取る場合などは10～50倍に薄めて使用する。



6 堆肥の利用

寝かせておいた生ごみと土の割合を1対4～5の割合で混ぜ合わせ1ヵ月ほど熟成させる。